

## シリーズ1、病虫害等による庭木の被害とその対策 (14)

### 一樹木を加害するカイガラムシ類を早く発見 する方法とその防除用農薬などについて

日本樹木医会富山県支部  
樹木医 西村 正史

庭木にはカイガラムシ類が多発しますが、発見が手遅れになることが多いこともあり、防除に苦労されていることと思います。

そこで、今回はカイガラムシ類をできるだけ早く発見する方法と容易に入手できる農薬の種類などについて紹介したいと思います。

#### カイガラムシ類の発生を早く発見する方法

葉にすす病が発生して黒くなったり、アリが樹に上がり始めたり、樹木全体の樹勢が何となく衰えたりすると、要注意です。枝や葉をよく観察してください。大型のカイガラムシ類であればすぐ見つけることができますが、小さい場合には10倍程度のルーペでカイガラムシ類であるか否かを確認してください。

#### カイガラムシ類の防除用農薬

カイガラムシ類であることが確認したら、防除を実施してください。以下に、ホームセンター等で容易に購入できる農薬を列記します。

- ・ **アクトリック乳剤**の500~1000倍液を散布します。対象樹種はツバキ類、マサキ、バラ、サクラです。
- ・ **オルチオン乳剤**の200倍液を散布します。対象樹種はツツジ類です。
- ・ **スミチオン乳剤**の1000倍液を散布します。対象樹種はコデマリです。
- ・ **カダンK**を噴射する。冬期と夏を通じての対象樹種であるマサキ、ゲッケイジュ、マツ、ツバキ類、スギ、モッコク、ツゲ、ツツジ類、モクセイ、サンゴジュ、モチノキ、アオキの場合は、霧が均一に付着するよう約50cmは離れた所から断続的に噴射する。冬期のみを対象樹種である落葉性低木類の場合は、10~20cm離れた所から枝及び虫体に霧が十分付着するよう断続的に噴射する。
- ・ **ベニカDX**を30cm以上離れた所から数回断続して噴射する。対象樹種は、サザンカ、マサキ、ボケです。

- ・ **ベニカDスプレー**を噴射する。対象樹種はツバキ類です。
- ・ **カイガラタタキ**を噴霧液が均一に付着するように30cm以上離れた所から数回断続して噴射する。対象樹種は、ツバキ類、ツツジ類、マサキです。
- ・ **キングマシンエアゾール**を噴霧液が均一に付着するように30cm以上離れた所から数回断続して噴射する。対象樹種は、ツバキ類、ツツジ類、マサキです。
- ・ **カルホスエアゾール**を噴霧液が均一に付着するように約30cm離れた所から数回断続して噴射する。対象樹種はマサキです。
- ・ **タイクーン乳剤**の750~1000倍液を散布します。対象樹種はツバキ類です。
- ・ **マシン油A乳剤AL**を希釈せずそのまま散布する。対象樹種は、マサキ・ツバキ類、ヤブツバキです。

使用される場合は、購入された農薬の説明書を良く読んでから使用してください。例えば、マシン油乳剤では使用時期によって希釈倍数に違いがあります。間違えると庭木に葉害が発生し、ひどい場合には枯れることもあります。

上記以外の農薬でカイガラムシの防除に有効な薬剤として、**スプラサイド乳剤40** (樹木類を対象に1000~1500倍を散布) と**カルホス乳剤** (樹木類、ツバキ類、マサキ、モッコクを対象に1000倍を散布) があります。これらは、「激物」に指定されています。

#### その他

薬剤以外の方法でも防除可能です。使い古しの筆の毛を1cm程度残して切り落とし、反対の柄(竹)の先を斜めに切って先を尖らした道具を使って、葉などの広い場所では毛を使い、凹凸のある狭い場所では竹の先で落とします。

タワシや歯ブラシなどで擦り落とす方法もあります。試みてください。